

基軸

日本維新の会
ねらいと実態 ⑤

立命館大学教授 森裕之



橋下・維新の会への住民の支持が集まったのは、ひとえに彼らの「政治力」に対する期待感にほかならない。彼らの政策や考えを批判する者に対して発せられる罵倒や

侮蔑の数々に、少なからぬ人々が

荒んだ拍

手を送っ

てきた。

反対者は

声をあげ

なくなり、政策ではなく

現状破壊にのみ固執する

者たちが増殖する。

「民意」と弾圧

橋下氏は「政治に必要

なのは政策を語ること」で

像で語る。

はない。組織を動かし、実行できるかどうかだ」と主張している。我々に求められているのは政策の選択などではなく、実行力のある政治への白紙委任だという言い方であ

不誠実な政治

橋下・維新の会は、政

策の主張を平然と変え、

誤りは屁理屈でごまかし

てきた。「大阪府をつぶ

す」という主張は「大阪

相公選制から防衛までを公約として発表する。

「脱原発」「TPP」に

ついては、やるのかやら

ないのかを示さない。

「オープンな議論」によ

るはずの政策合意は密室

「主人公」として

橋下・維新の会をはじ

めとして、地方自治の力

の大きさがこの間あらた

めて示されてきた。基地

移転や原発再稼働のよう

な重要な政治課題につ

いてさえ、政府は関係自

治体の意向を無視して強

行することはできない。

政治的プロパガンダにす

ぎない「大阪都構想」につ

いても、「大阪の民意が示

された」などといって瞬

く間に法案が成立した。

我われはこの経験は今

度はプラスに活用しなけ

ればならない。中身のな

い統治機構つづきを批判

白紙委任は民主主義腐敗

大阪から未来社会の展望を

る。彼らはこれこそが

「民意」だとし、それに

刃向かう者は容赦なく弾

圧するだろう。こうした

政治がいかに恐ろしいか

は、子どもでも容易に想

像で語る。

市をつぶす」にすり替わ

り、「実現の時期が異な

るから、大阪都と関西州

は両立する」などと言っ

てのける。「大阪都構想

のめどが立てば維新の会

は解散する」はすが、首

でなされた。彼らはやは

り我われ国民を「健忘症」

だとみているのだ。この

ような不誠実な政治に対

して白紙委任の支持を与

えることは、「腐敗した

民主主義」でしかない。

し、未来社会への展望を

地方から示していかなけ

ればならない。医療、福

祉、教育、環境・エネル

ギーなどの重大課題を産

業政策と結びつける「維

持可能な政策づくり」

は、大阪のような大都市

が先導していく責務をも

つ。そのためには、一人

ひとりが「観客」ではな

く「主人公」として生き

る民主主義社会を再生し

なければならぬ。その

ような意識をもった個人

や団体の地道な取り組み

なしに、未来社会を切り

拓く原動力はないといっ

てよい。

(おわり)